

横山幸次

区政報告
ニュース

385

2010年5月16日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

都が子宮頸ガン・小児肺炎球菌ワクチンに補助 区の事業実施が前提…急いで条件整備を



申し入れる共産党区議団

**共産党区議団が区に緊急申し入れ
「課題あるが、前向きに検討」(区)**

予防できる唯一のガンである子宮けいがんのワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンが日本でも昨年承認されました。その後東京都が予防接種の予算を付ました。ただし、区が窓口になって事業を行うことが前提です。これを受けて4月から子宮けいがんについて杉並区、渋谷区が助成を開始。荒川区はまだ実施していません。5月10日、共産党区議団として区に申し入

れを行いました。子宮けいがんは、女性特有のガンだけに、接種対象年齢の子どもたちに、きちんとした理解を得ることや、接種も産婦人科でなくて小児科に、健診受診はやはり必要など検討すべきことも多くあるようです。

**接種に国の公費助成を
命に「差別」は許されません**

十分な体制と早期に事業実施に踏みだすように申し入れを行いました。

細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチンは、荒川区でも助成がはじまっています。同時に、肺炎球菌の感染により、多くの小児が細菌性髄膜炎や肺炎、重い中耳炎・菌血症・敗血症などにかかっています。すでに小児用は肺炎球菌ワクチンも任意接種がはじまっています。先進国では、定期接種

子宮けいがんは、日本の20歳代の女性では乳がんを抜いて、発症率が一番高いがんで年間15000人以上が発症、約3500人が命を落としています。原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によるもので、ワクチンで予防できる唯一のがんです。3回の接種で4万円～6万円の全額が自己負担となり、公的援助が不可欠です。また自分の体と性について正しい知識を得る機会とするため、この間、後退させられた学校での性教育を強めることも必要です。

になっています。

子宮けいがんも肺炎球菌もそうですが、自治体にしても個人にしても資力のあるなしで、命と健康に「差別」がつくられてはなりません。国でも検討がはじまっています。



裏面もご覧下さい
国民健康保険など

定例法律相談

6月7日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。生活相談は、随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。TEL&FAX 3895-0504 不在時は、留守電へ、後で連絡します。区役所控室 3802-4627

区役所控室の窓から見えるスカイツリー 634メートルの半分以上の368メートルに到達

区役所の控室で仕事をしている時、何気なく外を見るとどうして飛び込んでくるのがスカイツリーです。以前も書きましたが、そうこうしているうちに、368メートル(5/8現在)半分以上になつたようです。現場で工事にたずさわっている方もこれから未知の体験をすることになり大変でしょう。これとは別に「下町の新観光名所」としての売り込みが熱を帯びています。まだ完成前ですが、ネット上で「東京未完成ツアー」などの言葉も踊り、地元も観光客ならぬ見学・観察客が殺到しているようです。荒川区でもこれと結びつけた観光などの声もあるようです。



ある日のスカイツリー

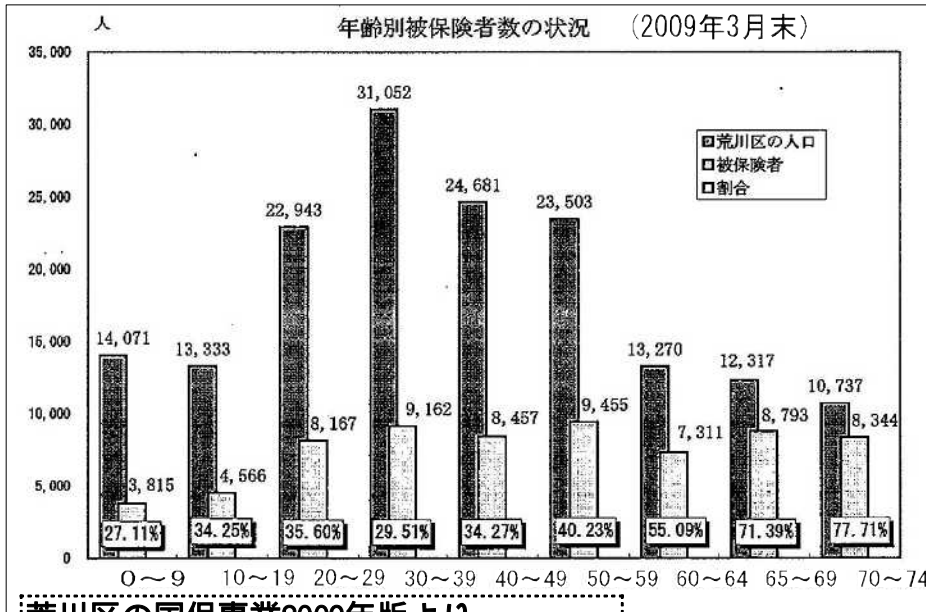
国民健康保険加入世帯の3割近くが滞納!



毎年の保険料値上げ…命の平等は？
払いたくても払えないのが現状では？

今年4月現在で荒川区の国民健康保険料滞納世帯が28.7%、ほぼ3割近くに上っています。また、2008年度国民健康保険料の収納率は、81.98%、前年度比5ポイント近くも低下しています。景気の悪化や社会保障の負担増など様々な要因があるでしょう。加えて毎年の値上げです。そもそも国民健康保険の加入者は、中小業者や年金暮らしの高齢者が中心です。行政として滞納世帯、1年滞納すると発行される資格証明書世帯（窓口で全額自己負担）の実態をキチンとつかむことが求められます。資格証明書発行の世帯が、ひとり暮らし高齢者などに多いとも聞きます。直接健康や命に関わるだけに心配です。

「命の平等」を考えると、地方自治体の努力はもちろんです。やはり削減された国の負担を元に戻し、保険料の引き下げを実行すべきではないでしょうか。



荒川区の国保事業2009年版より
 75才以上は、後期高齢者医療制度へ移行

国民健康保険加入・保険料滞納状況など(4月末現在)

	2007年	2008年	2009年	2010年
加入世帯	50,290	41,914	42,288	42,981
加入人数	84,837	68,948	68,837	69,095
滞納世帯 (滞納比率)	13,712 23.7%	12,624 30.1%	11,508 27.2%	12,222 28.4%
資格証明書世帯	1,255	944	923	732

みなさんのご意見をお寄せ下さい!

お知らせ

ひきこもり家庭教室…開催

いま様々な要因で起こる引きこもりが、深刻な問題となっています。

家族教室では、ひきこもりの方への対応で困っていることなどを専門家を交えて話し合います。家族が気持ちをほぐして、より元気になり、ひきこもりの方への対応についていっしょに考えます。



5月14日(金) アクロスあらかわ・午後2時~4時

・講話「家族の関わり方とこころの持ち方」

西村 美智子先生(臨床心理士)

6月30日(水) アクロスあらかわ・午後2時~4時

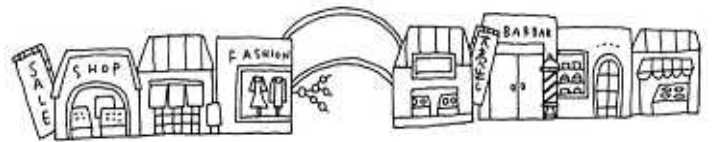
・講話「ひきこもり」とは

伊波 真理雄先生(精神科医師)

対象: おおむね15歳~35歳位のひきこもりの方の家族など

事前にお申し込みください。

電話: 3802-3111 内線2688



くらしの相談などお気軽に



改善されない雇用情勢、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504 (横山事務所)

不在時は留守電に伝言を

3802-4627 (議員控室)

E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp